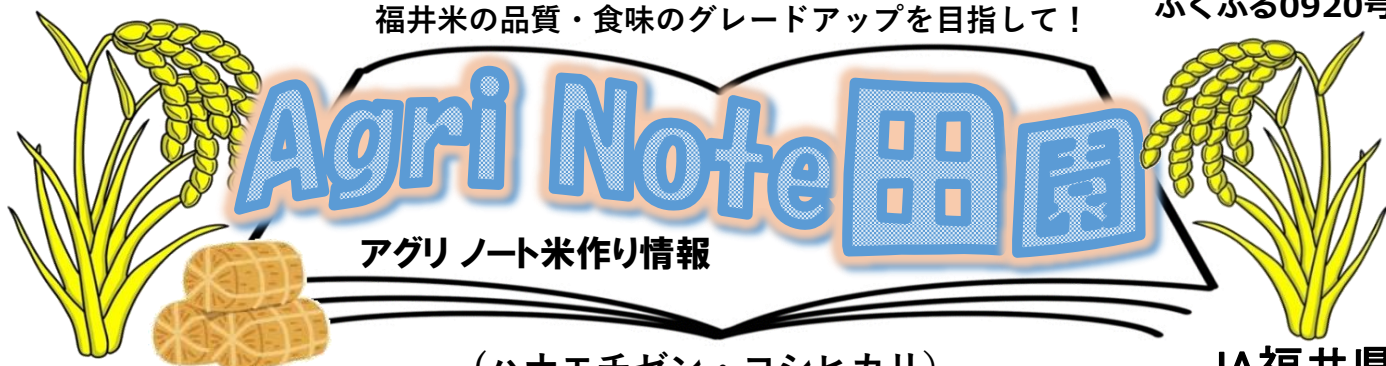




(ハナエチゼン・コシヒカリ)

JA福井県

令和6年産米の刈取り作業が終わられた方も増えてきていると思います。今年の出来はいかがだったでしょうか。満足された方ももう一步だった方も、来年の米作りはすでに始まっています。雑草が多かった圃場では、刈取後の除草剤を散布し、翌年の雑草を減らしましょう。またできるだけ温かいうちに稲わらのすき込みと土壌改良資材を施用し、土づくりを行いましょう。**また、JA福井県では新米集荷運動を展開中です。保有米などを確認し過剰なお米がありましたら、JAへ出荷をお願いします。**

次年度に向けて秋作業のポイント

1. 圃場作業

①稲刈後の除草剤散布

しつこい多年生雑草には秋の除草剤散布が有効です。「オモダカ」「クログワイ」は、稲刈り後にも生育を続け、地中で来年の発生源となる塊茎を形成します。稲刈り後に再生してきた一年生雑草・多年生雑草は、非選択性の茎葉処理剤の散布により防除が可能です。

②非選択性除草剤の散布

- ラウンドアップ
- バスタ液
- プリブロックSL



②土壌改良資材の散布

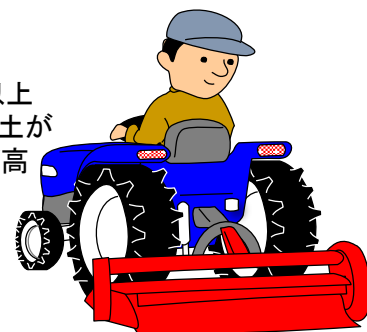
土壌の保肥力を高め、異常気象や耐病性への効果が高まります。



おいしい、売れる米づくりの基本は、土づくりです。一発肥料などで不足する成分は、土壌改良資材で補填する必要があります。稲刈り後、早期に土づくり資材を施用して、耕起をしましょう。

③秋起こし

作土の深耕15cm以上に努めましょう。作土が深いほど収量性が高まります。



2. 令和7年度春用肥料の予約注文！ 注文書配布(10月～)

JAでは農家の皆様の品質・収量向上と安全・安心な福井米づくりをサポートします。令和7年度 春肥料予約注文が10月から始まります。予約注文が大変お得になっているのでお手元に届きましたら、注文書の提出をお願いします。 福井県の環境にあった専用肥料の開発

不安定な海外情勢に備えた
必要数量の確保

安定供給

高品質

JA肥料の特徴

価格変動を見据えた仕入れと交渉

価格抑制



肥料の注文は
予約がお得!!

3. コンバインの格納点検 各MC受付中！

JAの各MCでは、大切なコンバインを来年も順調に・快適に・安全に使用していただきたい。そんな願いを込めて【格納点検】・【定期点検】をおすすめします。

【点検整備をおすすめする理由】

- 機械はいつもベストコンディション
- 重大な故障が少なく、トータルでは経済的です。

